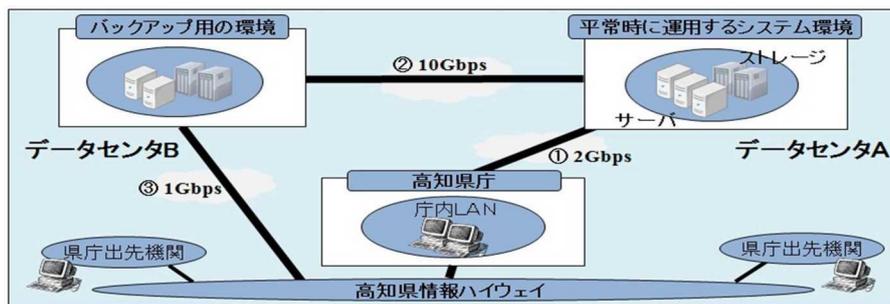


## 第4次庁内クラウドについて

### 1 概要

#### オンプレミスの仮想化基盤

通常時は、庁内システムを平常時用の「データセンタA」で稼働させ、下図の①の通信回線を用いて庁内システムを利用する。インターネット接続には高知県セキュリティクラウドを経由することから、利用できるポートに制限があります。



### 2 仕様

#### (1) 仮想化ソフトウェア

Nutanix Cloud Infrastructure

#### (2) 庁内クラウドで用意しているソフトウェア

- ・ Windows Server 2025 Datacenter (CAL 含む) ※ダウングレード権あり (2022, 2019)
- ・ Red Hat Enterprise Linux Server for Virtual Datacenters for Service Providers
- ・ Oracle Database Standard Edition2
- ・ Oracle Java SE Subscription
- ・ McAfee (Trellix) Agent ※サーバ用あり

#### (3) 仮想マシン仕様

- ・ 仮想 CPU 数 1, 2, 4, 8
- ・ メモリ 16GB まで (必要に応じて調整)
- ・ ストレージ 最大 1,000GB まで

※運用後の拡張は可能ですが、縮小はできないため、新規構築においてバッファを多く見込んだ最大値で設定することは避け、段階的に増設するようにしてください。

※バックアップは基盤側にてストレージベースのスナップショットにより行うことができます。

(7世代まで、OSへのエージェント導入不要)

※DB等の静止点確保は業務システム側で行ってください。

※ファイル単位でのバックアップは業務システム側で行ってください。

- ・ 監視機能有り (CPU ・ メモリ使用率、ポート監視、Ping 監視等)

#### (4)物理サーバ仕様

第4次庁内クラウドの新仮想化基盤は、物理サーバ7台構成となり、スペックは以下のとおりです。

- ・CPU：336コア（48コア（48コア×1ソケット）×7台）
- ・メモリ：5,376GB（768GB×7台）
- ・ハイパーバイザー：Nutanix AHV 7（数年毎にアップデート予定です。）

### 3 操作端末

仮想マシンを操作できる端末は高知電気ビル別館にあります。また、サーバ構築後は外部からリモート接続できる仕組みを利用できる場合がありますが、別途、接続回線等の契約を行う必要があります。

### 4 サーバ構築時の注意事項

- ・仮想マシンの持ち込みはサポート範囲外ですが希望される場合はご相談ください。
- ・操作端末からはリモートデスクトップ接続を利用しないでください。
- ・構築時の外部メディアによるデータ持ち込みについてはご相談ください。
- ・LGWAN系ネットワークに接続した仮想マシンはインターネットに接続できません。

### 5 その他、県庁のネットワーク環境として利用可能な機能等

- ・SSLサーバ証明書の発行
- ・公開用Webサーバのドメイン(サブドメイン)設定
- ・庁内メールサーバの利用(メール送信)